

チャレンジ

九川大学高等学校 ライセンスコースだより NO4 2015.5.29

3日から 中間試験スタート

26日に中間試験の時間割が発表になって、すでに家庭学習などで準備を進めていると思います。今回の試験が3年生にとっていかに大切であるかということは以前から述べてきました。今後の進路を考えた時、今の努力がとても大事であることを再認識するでしょう。将来的な見通しと今の努力はきっと結びつくはずです。今週は高体連の当番校で午前授業になりました。まだテスト勉強に着手できていない人は、今日から明日明後日は車外なので、この条件を生かしてしっかりと学習を始めましょうと思います。

**教科書を
持ち帰る**

明日から2車外なので机の中に教科書を置いている人は、必ず持ち帰って下さい。生徒として当たり前のことを実践しましょう。「赤点でなければいい……」という安易な考えで受けるのではなく、相対高の3年間で自分をいかに成長させるか、十分な学習を積んで3日からの試験に臨んでほしいと思います。

先生のことば

「君がやれればできるじゃないか」「努力したな」「期待してるぞ!」「もう少した、やれればできる!」「先生もがんばるから、お前たちもがんばれ!」

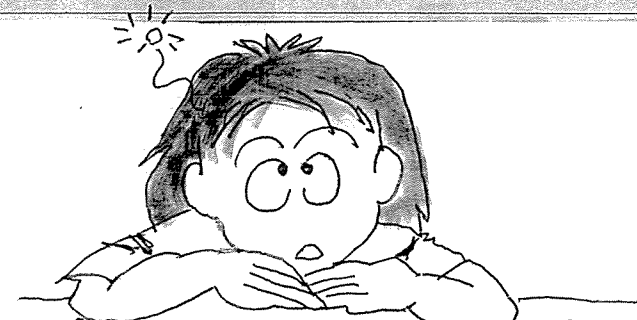
31日(日) 全経簿記検定

この一手

電車の中で周りを見ると、ほとんどの人がスマートフォン(スマホ)をいじっている。ネットを閲覧していたり、メールなどを書いていたり、様々だ。気のせいとか口角が下がったり、気味で難しい表情をしている人が多く感じる。楽しくもなく、ただ、すぎ間の時間を埋めているのだろうか。それでも今の社会人ならスマホのない時代も経験しており、目の前のすべきことに集中することができる。それが中高生になると、初めて手にする携帯端末がスマホということもある。家族と夕食をとりながら、宿題をしながら、テレビを見ながら、意識はスマホに向かい指を動かす。厚生労働省による全国の高生を対象とした調査(2013年発表)で、スマホなどネット依存が疑われる中高生が52万人と推測された。内閣府の調査(同)でも中学生の25%、高校生の56%がスマホを所有していて、1年前の同

「使わない」時間設け防ぐ

調査では中学生が5%、高校生が7%。驚くべき速さで浸透している。様々な依存症に対し第一線の治療を提供している久里浜医療センターでは、2011年に日本初の「ネット依存治療専門外来」が開設され、新規の受診予約が半年以上先になるほど患者が増えているという。困った事態の典型例として「親が注意すると暴れる」「ネット環境を取り上げると無気力となり引きこもる」。親も首を上げている。単に「はまる」のとは病的な「依存」の違いは何か。精神医学的には「自身で止めたい」と思っても制御できず心身へ影響を及ぼし、結果として本来の社会生活への支障が生じる「状態を病的」とらえる。スマホはパソコンと違い環境を選ばずに使える。歩きスマホが社会問題になっているが、「ながら」使用ができる点も依存を導く要因。依存症治療は、制御できないから「断つ」という考え方がベース。ただ現代社会において携帯端末を「断つ」のは現実的ではない。だから治療法は未確立といえる。



「すさまじい浸透の速さの中で、道徳や倫理をいかに増えなくしている。食事中はスマホを使わないようにすることや、旅行中はネットを断ち切った生活をしてみるなど、使う頻度を落として「依存」に陥らない環境をつくる。家庭での取り組みが必要だ。」(神田東クリニック院長 高野 知樹)

前期中間試験時間割

日程	3日(水)			4日(木)			5日(金)		
校時	1	2	3	1	2	3	1	2	3
1年	英語	科学	簿記	数I	情報		世史	国語	
2年	英語	化基	簿記	数A	情報	70	日史	英文	
3年	英語	生基	簿記	数II	家庭		現社	英文	70